

「持続性心房細動に対して肺静脈隔離術と low voltage area(LVA)アブレーションをおこなった症例において LVA のサイズと心房細動の再発の関連性」へのご協力のお願い

代表者 所属： 職名： 氏名：
共同担当者 所属： 職名： 氏名：

1. 目的

持続性心房細動の患者では、肺静脈隔離術(PVI)以外に有効な治療法が確立していない。その中で最近、LVA に対するアブレーションの有効性が言われている。PVI と LVA アブレーションをおこなった患者において AF の再発と LVA の程度、分布との関連性を調べた。

2. 対象と方法

持続性心房細動の患者においてははじめに PVI をおこない、その後にカルディバージョンをおこない洞調律に復帰させた。洞調律において多極カテーテルを用いて low voltage map を行い low voltage area の広がりや分布を検証した。術後は外来にて AF の再発がないかフォローした。AF の再発群と非再発群において患者背景や LVA に関して比較した。

3. 研究期間

平成 26 年 8 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 30 日

4. 調査票等

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。あなたの個人情報は削除後匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には最新の注意を払います。

- ・年齢、性別、家族歴、既往歴、嗜好、AF 持続期間、左房径など
- ・検査データ、画像データ、手術記録など
- ・治療内容、有害事象など

5. 情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報は完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので下記までご連絡下さい。

津山中央病院 病院長 林 同輔
連絡先：電話 0868-21-8111 (担当：循環器内科 吉村 真吾)